

諏訪地方の 経済概況 速報

2020.04

2020年3月末調査／2020年4月30日発行

SUWA AREA
ECONOMIC
OVERVIEW



諏訪信用金庫
SUWA SHINKIN BANK

諏訪地方の概況

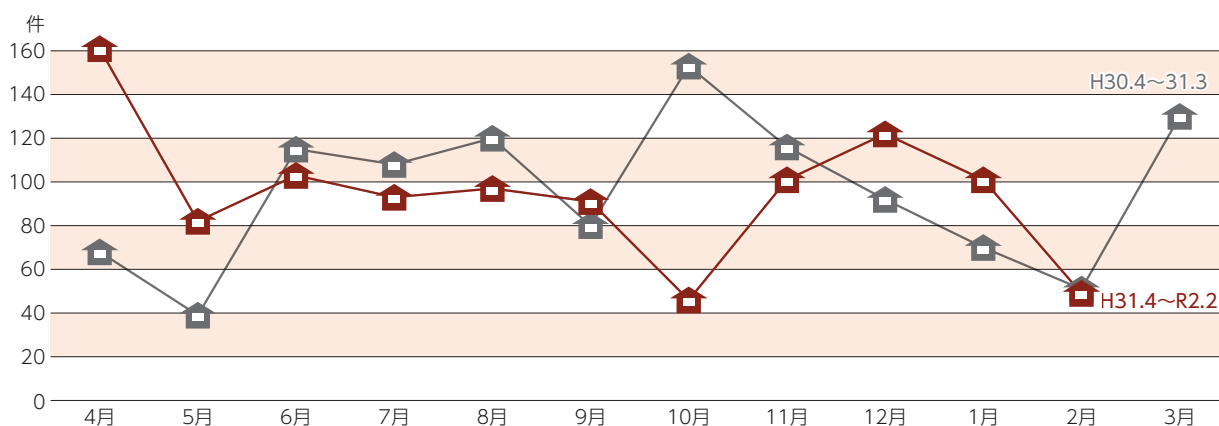
3月は、世界保健機構（WHO）が、新型コロナウイルスをパンデミック（世界的な大流行）とみなせると表明した。各国で入国制限や移動の制限をかける動きが相次ぎ、米欧中の3大経済圏で人の移動が止まる前例のない事態に発展した。今夏開催予定の東京五輪・パラリンピックも1年程度の延期が決まった。米国が国家非常事態を宣言するなど、各国政府は緊急対策に動いたが、先が見通せず株価は記録的な乱高下を繰り返した。日本政府は3月の月例経済報告の景気判断で、6年9ヵ月ぶりに「回復」の表現を削除し、新型コロナウイルスの影響で「厳しい状況にある」との判断を示した。

4月上旬に行った当金庫の臨時調査では、回答があった199社のうち、3ヵ月前に比べて業況が悪化した企業は58.3%だった。観光や商業の落ち込みが大きい。製造業も約51.5%の企業が悪化しているが、3ヵ月後は70.9%の企業が悪化予想で、今後のさらなる落ち込みが懸念されている。

（諏訪信用金庫の取引先約130社へのヒアリング調査による取りまとめ）

		実 数	前年同期比
有効求人倍率【2月】（諏訪公共職業安定所管内）		1.39倍	△0.39ポイント
手形交換高【3月】（諏訪手形交換所扱）	枚 数	4,646枚	1,212枚
	金 額	6,999百万円	2,190百万円
	うち不渡り発生状況	枚 数	0枚
	金 額	0千円	0千円
車庫証明取扱件数【3月】（諏訪地方合計）		1,338件	△13.6%
新設住宅着工戸数【2019年4月～2020年2月】（諏訪管内）		1,046戸	3.4%

■新設住宅着工件数の推移（諏訪地方合計）



製造業

「今後の業況悪化予想が増加」

3月中旬から世界に新型コロナウイルスの感染が一気に広がり、日系自動車メーカーは欧米やアジア、中南米の各国での操業を停止し、関連企業にも影響が広がった。財務省発表の2月の貿易統計では、前年同月比で輸出は15ヵ月連続、輸入は10ヵ月連続のマイナスで、そこに新型コロナウイルスが追い打ちをかけ、貿易の縮小が加速した。日本工作機械工業会発表の3月の受注総額は、前年同月比の減少率が4割を超え、18ヵ月連続で前年割れした。自動車関連をはじめ、製造業各社は部品供給の停滞や世界的な需要低迷などで、生産計画の変更を余儀なくされ、諏訪地方の企業にも影響を及ぼしつつある。当金庫の臨時調査では、回答があった134社のうち、58.2%が3ヵ月前より受注が減少している。また、4月時点では堅調な企業も先行きに不安があり、3ヵ月後の受注減少を予想する企業は72.4%にのぼる。3ヵ月後に新型コロナウイルスの影響を「多大」とする企業は61.2%となっている。

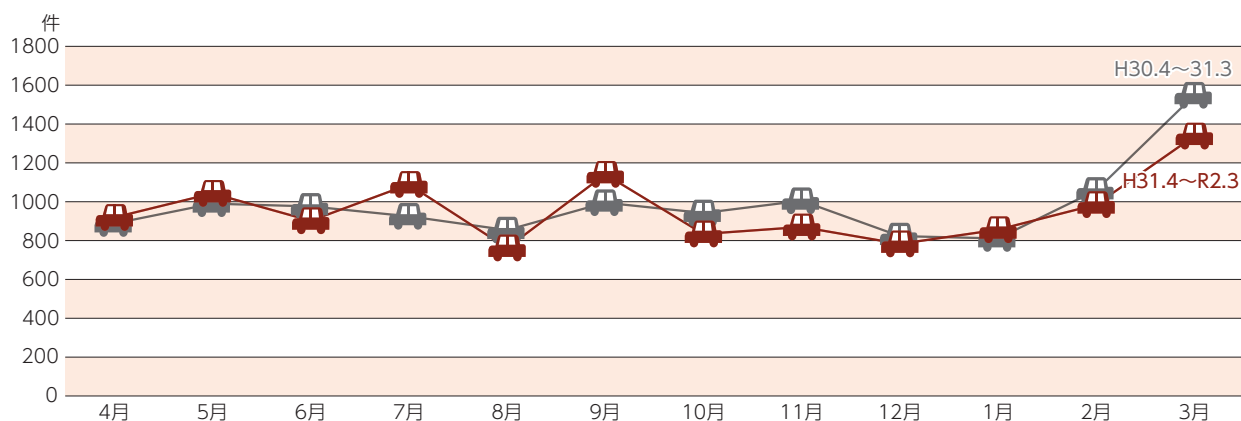
金属製品 プレス、メッキ、熱処理など	前年同月が好調だったことから、今年は売上げが減少している企業が多い。自動車部品関連は、新型コロナウイルスの影響で取引先が週3体制にしたり、5月の連休は10日間の休業が示されるなど、減速傾向が強まっている。医療機器関連は堅調に推移している。銅や真鍮などの原材料や燃料価格は大きく下がっている。
一般機械 工作機械、専用機械、省力機械、検査機械など	省力化機械や自動機は海外向けの需要減少や設備投資の減少などで、一時より減速傾向になっているが、新型コロナウイルスの影響による出勤停止などで需要見込みがある。工作機械は、業界全体の傾向同様、受注残と売上が減少している。専用機は国内向けの需要はあるが、海外向けは低調。しばらく仕入れを抑制することで資金流出を防ぎ、現状を乗り越えることを検討する企業もある。一方、医療機器部品は新型コロナウイルス対応で、大量発注の動きがあった。半導体製造装置関連も好調に推移している。
電気機械 家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、半導体関連など	半導体関連は、スマホや5G関連向けの受注が順調に推移しているが、自動車向けは低調で、カーナビやセンサーなどの車載部品は今後の減少予想もある。中国向けのプリンターは、現地の消費が冷え込み、受注が急速に減少した。EV電池製品は好調を維持しているが、米国の状況悪化に伴い、今後の受注は不透明。プリント基板は低調が続いている。
輸送用機械 自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など	自動車部品関連は一部好調な企業もあるが、総じて受注減少の状態が続く。自動車メーカーは春以降、複数の新型車の生産を開始する計画で、部品メーカーも生産準備で設備投資してきたが、先送り傾向となっている。増産予定が一転して、在庫調整に変わった企業がある。新型コロナウイルスの影響は5月以降の受注減が想定され、先行きへの危機感が強い。船外機も北米や欧州の需要低迷で、低調に推移している。新型コロナウイルスの影響で、次年度の採用活動を懸念する企業もある。
精密機械 時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など	光学部品関連は新型コロナウイルスの影響で、欧米で製品が売れず、在庫が増加し、生産調整がある。主要取引先からの受注が一時ストップしたり、先送りされた企業がある。中国の工場は、再開しても物流が停滞し、消費も低迷している。一方、中国では在宅勤務が増えているため、タブレットの売れ行きは好調で、関連部品の受注が増加している。半導体製造装置関連の受注は堅調に推移している。
製造業全般	鋼材加工は、昨年度より受注量は減少しているが、半導体関連の受注に動きがある。みそは業務用や外食向けの動きは鈍いが、外出自粛が続き、需要は伸びている。漬物も内食の需要が高まり、スーパーの売上増加に伴い、特需となった。寒天は暖冬で生産量が減少したが、新型コロナウイルスの影響で販売量も減少した。どぶろく製造で使用する次亜塩素酸水の販売に反響があった。印刷・情報用紙は、旅行やイベントの中止と自粛が相次ぎ、パンフレットやチラシ需要が落ち込んだ。

商業 「外出自粛で明暗」

進学や就職、異動など人の移動が多い時期に、新型コロナウイルス感染拡大による外出や対面の自粛で、歓送迎会などのイベントが中止となり、飲食業をはじめ多くの商業分野で来店客が減少した。前年同月比で大きく売上げが減少した店舗が多い。反面、スーパーなどでは外出の頻度が減った消費者が、通常より日用品や食料品を多めに買う特需となった。また、来店客の減少でテイクアウトを始めた店舗では予約が上向いている。このほか、早めに来訪した別荘利用者の消費行動も売上に寄与している。マスク不足は依然、解消していないが、誤った情報で買い占め現象が起きたトイレトペーパーの不足は解消された。

大型店	食材を「買いだめ」する傾向で、来店客数が増加し、客単価も上昇している。米、小麦粉、パン粉、パスタ、インスタント食品、冷凍食品、納豆が伸びた。
食料品	外食を避けた内食傾向から、食材の販売は安定している。一時、買い占め現象があり、白菜やキャベツなどの野菜が値上がりした。
家電	全国的には新型コロナウイルス感染拡大防止で在宅勤務が広がり、パソコンの需要が伸びているが、部品の供給不足で品薄になった。
自動車	諏訪地方の3月の車庫証明件数は1,338件で、前年同月比210件、13.6%減少した。2019年度の累計は11,522件で、前年同期比2.4%減少した。
飲食店	家族や友人同士など少人数の宴会はあるものの、企業の宴会がなく落ち込んでいる。テイクアウト方式に切り替え、予約を伸ばした店がある。
生花店	ブライダル関連、飲食店向け、店頭販売が減少し、ネット販売は増加している。生花の供給が不安定になっている。
燃料販売	産油国情勢でガソリン価格が下がるが、外出自粛で販売量も低下する見込み。
靴店	学校の生徒用の靴の売上は決まってい安定しているが、一般は、外出自粛で特に高齢の女性客が減少し、婦人靴の売上が減少している。
イベントホール	例年3月は小学校の卒業式後の歓送迎会など大口需要があるが、今年はほぼ皆無。恒例の企業や団体のイベントも5月ごろまで低調。
野菜直売所	米や保存がきく芋、ニンジンなどの根菜類の売れ行きが好調。天候がよく野菜の生育が順調で、地元産野菜の出荷時期も前倒しされている。

■車庫証明件数の推移



観光・サービス業 「新型コロナウイルスが深刻な影響」

新型コロナウイルスの影響は大きく、多くの宿泊施設で夏ごろまで大幅な宿泊予約キャンセルが続いている。客足や売上の減少に打つ手がなく、終息も見通せないことから、危機感が増している。利用客だけでなく、従業員の安全確保も課題。JRは諏訪地方の特急停車本数が増加したものの、乗車数が極端に少なく、切符の購入がわずかで払い戻しが多いため、現金が不足した駅もある。こうした中ではあるが、感染症の終息時期に反転攻勢するため、県、市、観光協会などと連携したキャンペーンの立案を始める動きもあり、諏訪地方の企業の不屈の姿勢も見られる。一方、人との接触が少ない別荘地に「避難」する動きがあり、利用者が増加した。ただ、これに伴う感染症への対応が課題となっている。

上諏訪温泉	団体宿泊予約、日帰り宴会予約のほぼ全てがキャンセルとなり、前年同月比で減少した宿泊施設がほとんど。謝恩会、歓送迎会などの日帰り宴会予約も急減した。4月は、3月以上に悪化する予想。諏訪湖上火花大会が中止になると、さらなる悪化が見込まれる。
下諏訪温泉	団体客がなく、個人客もまばらな状態。年内中は団体旅行の来館は難しく、売上回復には時間を要するとみられる。
蓼科・白樺湖・車山・富士見等	三連休まではスキー客の入り込みもあったが、下旬は急失速。感染者が発生した場合のリスクを想定し、休館を決めた施設がある。一方、別荘利用者がここ数年ないほど来訪し、テイクアウトできるベーカリーや客単価が高いステーキ店、焼き肉店などの売上が増加した。
諏訪大社	上社・下社合わせた3月の参拝者数は約4万1千人。前年同月比では約1万2千人、22.6%減少した。

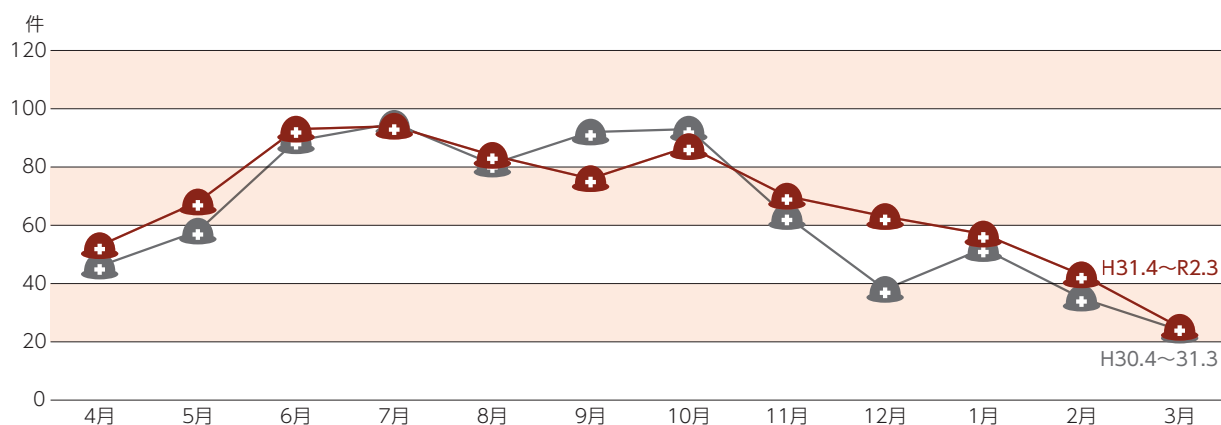
建設業

「部材入手に難」

3月の市町村からの受注工事は合計25件、93百万円となった。前年同月に比べ件数は1件増加したが、契約金額は284百万円減少した。国県関係の2019年4月～2020年3月の累計公共工事（地元業者受注分）は、前年度累計比で件数、契約金額とも増加した。民間工事は、諏訪地方の2月の新設住宅着工戸数が49戸で、前年同月比2戸減少（△3.9%）した。2019年4月～2020年2月の累計は1,046戸で、前年同期比34戸増加（3.4%）した。全般的に仕事があるが、部材の入手が困難。

公共工事	3月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は、国関係4件、諏訪建設事務所11件、諏訪地域振興局農地整備課1件、同林務課1件、県警本部2件の19件で、契約金額は556百万円だった。2019年4月～2020年3月の累計は186件、8,353百万円で、前年同期の累計比で件数は44件、契約金額は3,614百万円増加（76.2%）した。市町村からの3月の受注工事は、建築工事0件、土木工事および下水道工事11件37百万円、その他工事14件56百万円となった。
民間工事	諏訪地方の前年同月と比べた2月の新設住宅着工戸数は、利用関係別で「持家」は14戸減少の31戸、「貸家」は16戸増加の16戸、「分譲」は4戸減少の2戸、「給与」は同数の0戸だった。長野県内の2月の新設住宅着工戸数は607戸で、前年同月比20.1%減少した。持家は5ヵ月連続の減少、貸家は5ヵ月ぶりの減少、分譲は7ヵ月ぶりの増加となった。

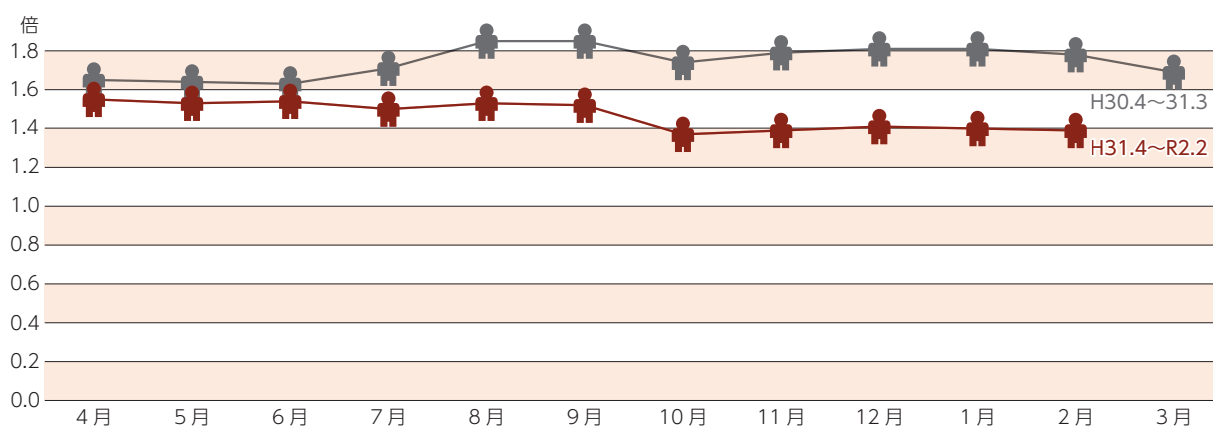
公共工事の推移（市町村合計件数 調査・測量・設計など業務委託は除く）



諏訪地方の2月の有効求人倍率は、前年同月を0.39ポイント下回り、前月を0.01ポイント下回る1.39倍となった。1倍以上は71ヵ月連続しているが、今年度に入り11ヵ月連続で前年同月を下回っている。長野県平均は、前月を0.03ポイント下回る1.45倍で、新規求人数は12ヵ月連続で前年同月を下回った。全国平均も前月を0.04ポイント下回る1.45倍だった。新規求人数は主要産業で軒並み前年比マイナスとなっている。完全失業率は2.4%で横ばいだった。

諏訪地方の新規求人数(全数)は1,579人で、前年同月比478人減少(△23.2%)した。求人の要因別は「継続する人員不足」「欠員補充」「業務量増大」「創業・新分野展開」の順。業種別前年同月比の新規求人数は「生活関連サービス・娯楽業」が増加したが、「運輸業」「卸・小売業」は減少した。新規求職者数は819人で、前年同月比29人減少(△3.4%)した。1件10人以上の人員整理は1件だった。事業主都合による雇用保険資格喪失者は33人で前年同月より4人減少し、前月より25人減少した。

■有効求人倍率の推移



《企業のひとこと》

- 今期は上向きで強気な計画だったが、新型コロナウイルスで総崩れとなった(金属製品加工業)。
- リーマン・ショック時に、経費削減のため人員削減したところ、その後の回復段階で大幅な人員不足に悩まされたトラウマがあり、今後の対応が難しい(金属製品加工業)。
- 船や飛行機が動かず、製品が届かないし届けられない(輸送用機械製造業)。
- 取引先の主体が大阪、兵庫の関西都市圏で、新型コロナウイルスの影響が日に日に大きくなっている(精密機械製造業)。
- 新型コロナウイルスは製造業にも大きく影響するため、企業の利用は期待できない(飲食店)。
- トイレ部材は、一時注文すら受け付けられなかったが、直近は受付のみ再開した(建設業)。
- 急激に増加したリスクや不安に対応できていない。集客への不安、資金繰り、自身の感染リスク、周辺で発生した場合の風評リスクなど。今年は通常営業できないと覚悟している(観光業)。
- 営業していること自体が批判され、休館が最善策になっている(観光業)。
- イベントが軒並み中止となり、告知ができず、自粛の時期に来場を呼び掛けることもできないため、CMのキャンセルが相次いでいる(テレビ局)。

長野県の金融経済動向

(2020年4月1日 日本銀行 松本支店)

— 2020年の公表日の前営業日時点で利用可能であった情報をもとに取りまとめ。

長野県経済は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、このところ弱めの動きとなっている。

最終需要の動向をみると、設備投資は概ね横ばいとなっている。また、住宅投資は横ばい圏内で推移し、個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、弱めの動きとなっている。公共投資は持ち直している。

この間、生産は弱めの動きが続いている。雇用・所得は、新型コロナウイルス感染症の影響などから労働需給が緩和してきており、弱めの動きとなっている。

企業の業況感は、非製造業を中心に悪化している。

生産

生産は弱めの動きが続いている。

半導体関連・電子部品等では、産業用機械向け等の需要鈍化が継続するも、生産は弱めの動きが続いている。

自動車関連では、海外需要の動向等を受け、生産は弱含んでいる。

機械・同関連部品等では、計器は、海外需要の動向を受け、生産は弱めの動きとなっている。工作機械や成形機、バルブでは、海外需要の動向等を受け、生産は弱含んでいる。

飲料では、持ち直しつつある。

設備投資

設備投資は概ね横ばいとなっている。

設備投資は、20年度は前年度並みの計画となっている。

輸出は、20年度は前年度を下回る計画となっている。

企業収益は、20年度は前年度を下回る計画となっている。

個人消費

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、弱めの動きとなっている。

県内大型小売店(百貨店、スーパー)売上高(当店調べ<店舗調整前>)は総じて底堅く推移しているものの、一部に弱めの動きがみられる。

家電販売額は、足もとでは弱めの動きとなっている。

新車登録台数は、減少している。

公共・住宅投資

公共投資は持ち直している。

住宅投資は横ばい圏内で推移している。

雇用・所得

雇用・所得は、新型コロナウイルス感染症の影響などから労働需給が緩和してきており、弱めの動きとなっている。

有効求人倍率は、高水準で推移しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響などから低下している。

雇用者所得は弱めの動きとなっている。

就業者数は、振れを伴いつつも緩やかに上昇している。

物価

消費者物価指数(除く生鮮食品)をみると、20/2月は前年比で1%程度のプラスとなっている。



SUWA SHINKIN BANK

諏訪信用金庫

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

TEL 0266-23-4567 FAX 0266-23-8044

<http://www.suwashinkin.co.jp/>